

# 森之宮地域の特徴 (H27国勢調査)

～地域に急性期を担う病院は当院のみ～

高度経済成長期に建築された築40-50年の団地

：2600戸に約5500人が居住

- ・区内一の高齢化率：32.6% (区全体24.9%)
- ・区内一の単身世帯率：51.6% (区全体39.9%)
- ・区内一の町会加入率：34.2% (区全体72.7%)



SAC会議:1回/2ヶ月 22回開催済

福祉用具体験  
モデルルーム  
624名見学



2018年6月大阪北部地震:18時までエレベーターが不通に。  
医療機器利用者は、在宅生活に不安を訴えた。

**森之宮地域にお住まいの皆様へ**

ご高齢の方、おひとり住まいの皆様、ご不安なことはありませんか？  
森之宮地域では、区役所・森之宮地域活動協議会・森之宮病院・URが  
一体となり、安心なくらしを支える取組みを進めています。  
是非ご相談・ご利用ください。

お気軽にご相談ください！

**生活を支える制度**

- ♥安心登録制度  
緊急時の対応の要となる情報を、事前に登録します。
- ♥緊急通報システム  
急病時など、設置された緊急通報電話のボタンを押すと、大規模災害センターに連絡されます。
- ♥配食サービス  
年間バランスのとれた食事を配達し、安全確保をおこないます。
- ♥ふれあい収集  
収集先まで、ゴミを収集まいります。

◆ 城東区役所保健福祉課 ◆  
☎ 6930-9142

**困ったときは...**

- ◆ 健康・身体相談 ◆  
◆ 森之宮病院 (相談専用) ◆  
☎ 6969-9731 (救急専用)
- ◆ お薬の相談 ◆  
◆ ハザマ薬局 ◆  
☎ 6963-5271 (救急専用)
- ◆ 生活・介護の相談 ◆  
◆ 城東地域包括支援センター ◆  
☎ 6963-6700
- ◆ 気になるがいたら ◆  
◆ 城東区見守り相談室 ◆  
☎ 6936-1131

**地域のとりこみ**

- ◆ 百歳体健 ◆  
第1回 月・木曜日 10:30~11:30  
第2回 月・木曜日 10:15~11:15
- ◆ ふれあい喫茶 ◆  
第1回 月・木曜日 9:00~11:30  
第2回 月・木曜日 9:00~11:30
- ◆ 食事サービス ◆  
第2木曜日 12:00~13:00 (要予約)  
※その他に多くの団体をこなしています。
- ◆ 森之宮の家 ◆  
(各団体の1階です)  
☎ 6967-1124

裏面もご覧ください

発行：森之宮安心ネットワーク・森之宮スマートエイジングシティ事業推進協議会  
協力：森之宮地域活動協議会 (UR都市機構西日本支社・森之宮病院・城東区役所)

地域内相談窓口の広報

きっかけ:2013年度:大阪府市医療戦略会議にて

社会医療法人大道会理事長が森之宮地域のまちづくりを提案

2015年度:城東区・UR都市機構・森之宮病院による

「スマートエイジングシティの理念を踏まえたまちづくり協定(SAC)」締結

UR都市機構:地域医療福祉拠点の指定



森之宮病院医療相談室による地域ニーズの報告:相談・住環境等

ソフト面の整備:

2015年以降、順次孤立死防止に向けた見守り機能を強化

- ・SACコア会議・地域ケア会議:気になる患者の情報共有・支援策の検討
- ・森之宮病院・URコミュニティ:宅配食利用の試食会
- ・UR都市機構:あんしんコールによる安否確認①
- ・区役所・社協・地域包括支援センター:訪問による安否確認②
- ・SAC参画機関:①②等により無事を確認できない方への緊急介入方法を検討中

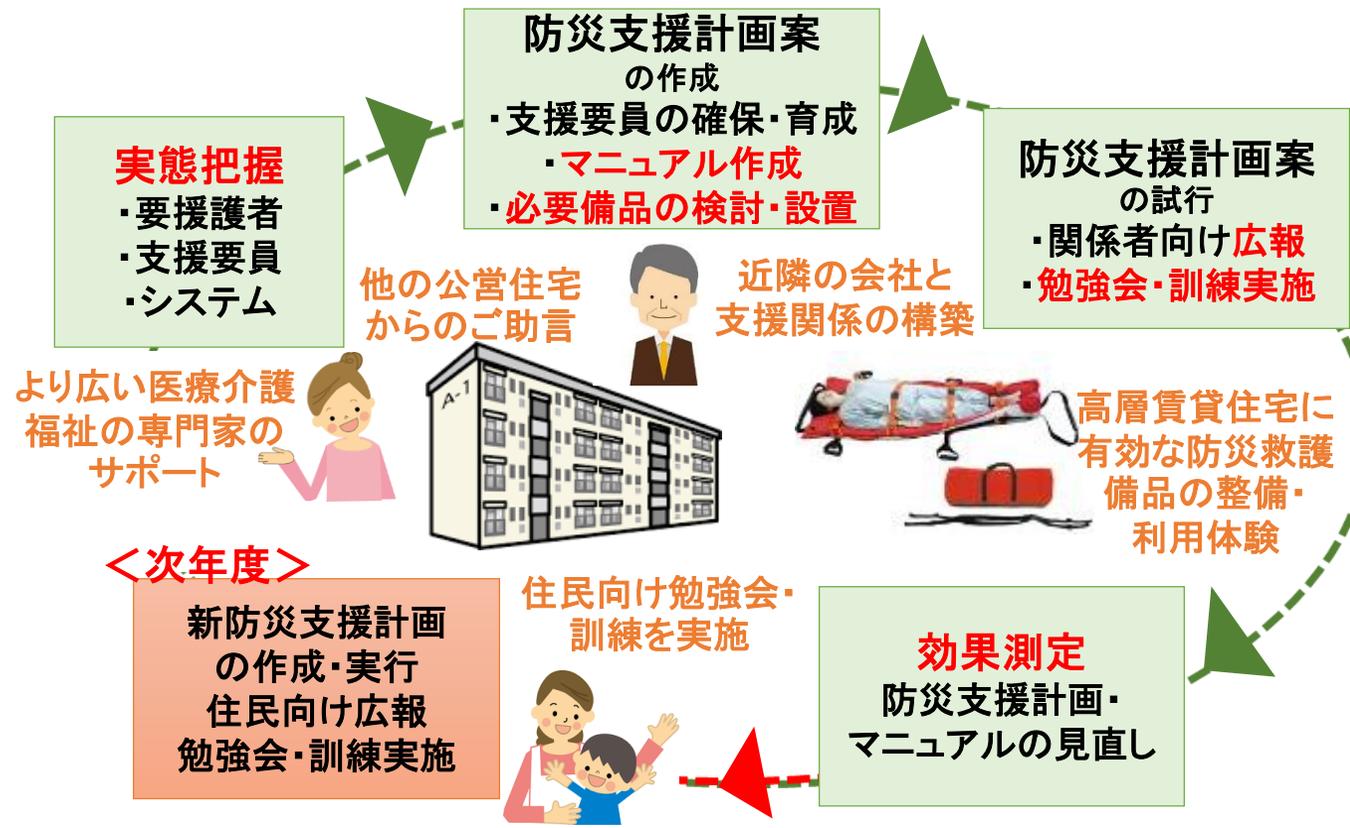
ハード面の整備

各機関によりエリア内の見守り拠点が整備されつつある

- 2019年5月:セブンイレブンJS森之宮店開設(24時間開店・宅配対応)
- 2019年4月:大道会健康ステーションまなぶ開設(ケアプラン&訪問看護)
- 2021年:特別養護老人ホーム平成福祉会 開設予定
- 2021年:保育園 みおつくし福祉会 新築移転予定

⇒ SAC協定以降、平時の見守り体制は強化されつつある。災害時の支援体制に課題あり。  
～これまでは生活支援の視点で活動。切り口を変えた事業計画の必要性～

# 既存のネットワークを活用した災害弱者の支援体制の構築



専門家(ダイバーシティ研究所)のサポートを得て、災害支援等を通し、安心して暮らせるまちづくりを目指す

①自助力 ↑ 個々の防災対応力の向上  
マニュアル確認や勉強会・訓練参加による知識の習得・体験値の獲得

②互助力 ↑ 支援要員増・パートナーシップ  
新たな支援力の獲得。勉強会や訓練参加による体験値の獲得や支援関係の構築。

③共助力 ↑ 専門的支援の活用  
医療・介護・福祉の専門家による新たな社会資源利用の可能性。

医療機器利用者だけでなく、外国人や高齢者・障がいのある方など、様々な方を対象とした検討につながる。

上記の実態調査の結果や各種マニュアル・訓練実施等の成果物は、同様の課題をもつ高層賃貸住宅等において活用していただける可能性がある。

再開発の一拠点となる森之宮地域で住民の安心を支援し、いのち輝く未来社会のデザインへ近づく取り組みを。